

横浜市社会福祉センター指定管理者選定評価委員会 第三者評価 第1回会議 会議録	
日時	令和7年7月8日(火) 午前9時30分～11時00分
開催場所	市庁舎 18階会議室 なみき15
出席者	平野委員、小澤委員、須山委員、山野上委員、阿部委員
欠席者	なし
開催形態	公開(傍聴者あり)
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1 委員長の選出及び委員長職務代理者の指名 2 会議の公開及び議事録等の公開について 3 第三者評価の実施について 4 施設概要について 5 評価項目について 6 今後の日程について
決定事項	<ol style="list-style-type: none"> 1 本日の会議は公開とする。 2 評価項目(案)は一部修正する。 3 第2回の会議は公開とする。
議事	<p>質疑要旨</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 委員長の選出及び委員長職務代理者の選出 <ul style="list-style-type: none"> ・山野上委員より平野委員の推薦があり、了承された。 ・平野委員長より山野上委員の指名があり、了承された。 2 会議の公開及び議事録等の公開について <ul style="list-style-type: none"> ・本日の会議は、特に非公開にすべき事由がないため、公開で行うことでの了承された。 3 第三者評価の実施について <ul style="list-style-type: none"> ・事務局から資料3に沿って説明 4 施設概要について <ul style="list-style-type: none"> ・事務局から資料4に沿って説明 5 評価項目について <ul style="list-style-type: none"> ・事務局から資料5に沿って説明 (平野委員長) ・本委員会は、点数をつける場ではなく、社会福祉センターの運営改善を目的とした評価の場である。 ・指定管理者である横浜市社会福祉協議会(以下、「市社協」)は、指定管理業務と市社協固有のボランティア関係業務を行っているが、今回の評価対象は、資料4「事業内容:社会福祉に関する相談・支援」および資料5-2「今回の評価対象業務」に記載された業務。 ・評価シート(案)の社会福祉センターの特性に合わせて設定している「V.施設の特性・専門性」を中心に確認を進める。 ・日頃社会福祉センターを利用する側の視点としての意見でもよい。 (須山委員) ・聴覚障害者にとって、情報保障が整っていることが重要。広い部屋だがマイクが(足り)ないことがある。参加者間で回して使用しなければならないため、携帯用のマイク、予備のマイクを増やしてほしい。 ・要約筆記機材の貸出開始時間が12:50(会議室予約時間の10分前)と限られているが、機材チェックやセッティングに時間を要するため、早めに借りれると有難い。 (山野上委員) ・資料4の事業内容と評価シートVの項目が連動していると分かりやすい。 ・様々な方が利用する施設なので、I利用サービスの向上の項目に「障害者への配慮」を記載してもよいのではないかと。また、災害時のアナウンスが聞こえず逃げ遅れないようにしなければならない。指定管理者が対応していることが評価できるような内容になっていると思う。

(小澤委員)

・令和6年度事業報告書を見ると、ホールの稼働率が低下している。こういった点も確認したほうがよいのではないか。

(事務局)

・項目に稼働率を入れる方向で調整したい。

(平野委員長)

・多くの方に使っていただけるよう、稼働率の低下を問題視するのではなく、有効活用の視点で評価していきたい。稼働率が下がっている要因があるのかないのか、見えてくるとよい。

(阿部委員)

・感染症対策の項目が評価項目から外されたが、会議室利用後に利用団体へ消毒が求められているので、整合性を取る必要があるか。

・障害福祉事業所はBCPの策定が義務付けられており、災害時にボランティア希望者が増えることを踏まえ、被災しながらもボランティアコーディネート業務を継続する点について評価しなくてよいのか。

(事務局)

・Ⅲ緊急時対応(6)緊急時対応全般(その他)で感染症予防対策について記載できるように視点を追加する。

・災害時の災害ボランティアに関する業務は市社協の法人業務であり、評価項目に入れることは難しい。ただし、社会福祉センターとしての災害時対応についての記載については、委員長に相談し、決めさせていただきたい。

(全委員了承)

6 今後の日程について

・事務局から資料6に沿って説明

(平野委員長) 今回のこの評価項目をもとに、市社協が指定管理者として、自己評価をし、その自己評価に対する評価案について9月に委員会を開催する。

・第2回の会議は、特に非公開にすべき事由がないため、公開で行うことでよいか。

(全委員了承)

(小澤委員)

・当日ランダムに伝票の存在を確認するとあるが、第2回当日に実施するのか。

・取引が実在するかという視点も合わせて確認するのであれば、外部証憑があったほうが良いかと思う。

(事務局)

・伝票の確認については、第2回当日に実施する予定。5年前の第三者評価委員会でのやり方を確認した上で、小澤委員へ相談してもいいか。

(平野委員長)

・了解した。

(山野上委員)

・第2回に実施予定の「指定管理者自己評価に関する『事実確認の報告』と『ヒアリング』」はどのように行うのか。

(事務局)

・「事実確認の報告」は、評価シートの指定管理者チェック及び記述の内容を事務局が確認し、当日報告する。

・「ヒアリング」は、指定管理者がチェック及び記述した評価シートを事前に送付するので、質問があれば当日市社協にヒアリングを実施していただく。

	<p>また、第2回では施設見学を実施するので、その場で気になった点についてもヒアリングで確認していただきたい。</p>
<p>資 料</p>	<p>資料</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 横浜市社会福祉センター指定管理者選定評価委員会 委員名簿 2 横浜市社会福祉センター指定管理者選定評価委員会運営要綱 3 第三者評価の実施について (参照)横浜市指定管理者第三者評価制度運用指針 4 横浜市社会福祉センターの概要 5-1 横浜市指定管理者第三者評価制度 社会福祉センター評価シート (案) 5-2 ボランティア関係業務について 6 横浜市社会福祉センター指定管理者第三者評価実施スケジュール